

令和7年度 支援学校 仙台みらい高等学園 第1回学校評議委員会

- 日 時 令和7年5月23日（金）午後3時00分～午後4時00分
- 参加者【本校】 野崎、藤原、菅野、松寿、下村、青山、百井、中島、相澤、
佐藤、川崎、阿部、狩野、布川、菅原、鈴木、西村、中川
【評議委員】以下参照

●会 場 支援学校 仙台みらい高等学園 寄宿舍食堂

●内 容

1 校長挨拶（野崎）

開校以来最大の84名という在籍生徒数。これまでも学校評議員皆様の助言をいただき、実行に移す中で、学校としての成長を実感している。引き続きご協力をお願いしたい。

2 評議委員紹介

- | | | |
|--------------------------|------|-------------|
| ・全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 | 次長 | 岩田 和彦 様（欠席） |
| | 事業所長 | 阿部 浩人 様（代理） |
| ・社会福祉法人共生福祉会 萩の郷福祉工場 福祉部 | 部長 | 高橋 康弘 様 |
| ・仙台市青葉区荒巻町内会 | | 菊地 希壽 様（欠席） |
| ・株式会社ガモウ 広域エリア営業部 東北エリア | 統括 | 井上 英治 様（欠席） |
| ・宮城学院女子大学 教育学部教育学科 | 教授 | 梅田 真理 様（欠席） |

3 学校運営について（藤原）

- ・本年度で開校5年目を迎え、新入生は本科1年生が定員を充足し、専攻科1年生は定員の半分になった。生徒数増に伴い、教職員も増員し、本年度入職の教職員も多くいるため、全員で協力し合い、学校運営を行っていききたい。
- ・【令和7年度 部門運営方針】の説明
- ・【令和7年度 重点目標】の説明（学校運営計画P5-6）
「スクールポリシー」として掲げる、グラデュエーションポリシー〈目指す人材育成像〉、カリキュラムポリシー〈目指す人材育成像〉、アドミッションポリシー〈求める人物像〉のうち、グラデュエーションポリシーに注目し、本年度の重点目標を以下3つに設定。
 - ①「協働的な学び」の充実によるグラデュエーションポリシーに資する人材育成の推進
 - ②専門人材育成及び広報観点を踏まえた地域連携の促進
 - ③「5年一貫教育※」にける専攻科の意義・価値の明確化 ※本科3年+専攻科2年課程

4 各分掌部 重点目標について（学校運営計画P26-45）

【教務部】（青山）

- ・「一貫スタイル」「ダブルスタイル」における教育内容の整備、グラデュエーションポリシーに資する人材育成のため授業計画、学習評価の見直しと改善を図り、全教職員に周知する。
- ・諸帳簿の点検システムを構築する。

【生徒指導部】（百井）

- ・移行支援のさらなる充実・強化に向け、卒業後の人とのつながりや余暇活動の幅を広げるため、需要のある活動を提供する。
- ・地域、警察との連携を、座学中心から体験型へ発展させ、活きる知識の提供を行う。

【進路部】（下村）

- ・進路決定率100%に向け、生徒の将来を想定して、長く続けられる就労先につなげる。
- ・有償インターンシップの仕組みの確立。目標：実績3件以上。
- ・卒業生、修了生の定着支援、実態調査において、地域に移行できる仕組みづくりを行う。
- ・プロフェッショナルトレーニング（実習）期間の見直しを行う。
- ・柔軟な進路選択ができる仕組みを構築する。

【地域支援部】（中島）

[支援]

- ・近隣大学よりボランティアの受け入れを増やす。
- ・心理士のアセスメントを活用した研修の実施。本年度開所した東京みらい児童発達支援センターでの研修も予定している。
- ・専門職員による授業の見学、フィードバックを実施する。

[研究]

- ・内外研修の情報を収集、展開し、参加促進を図る。
- ・授業づくりの研修を実施する。
- ・授業観察を通し、フィードバックと改善サポートを行う。

【防災環境整備部】

[防災環境整備]（相澤）

- ・防災教育を実施する。
- ・教職員への防災研修を実施する。
- ・安全点検表のオンライン化。経年劣化による修繕は適宜実施する。

[保健]（佐藤）

- ・生徒健康診断の未検者、受診勧告者の受診率55%以上を目標とする。
- ・口腔内の衛生にて、歯磨き指導（染めだし等）を実施する。

【事務部】（川崎）

- ・昨年度、名前の誤字があったため、出願情報のダブルチェックを行う。
- ・教員の事務作業削減のため、事務で代行できる業務について情報共有を行う。
- ・広報と連携し学費資料を作成する。

【舎務部】（阿部）

- ・余暇活動の充実化を図るため、ヨガの体験、フットサル、アート体験などを実施する。
- ・アート体験で作成した物の販売会を地域の祭りで行う。広報目的も含めた活動とする。

【広報部】（狩野）

[動員]

- ・YouTubeの更新を行う。
- ・専攻科の定員未達のため、県外の高校へも訪問を実施する。

[歩留]

- ・広報研修の実施を通して、全教職員が広報活動ができるようにする。
- ・在校生スタッフの育成強化、オープンキャンパス内容の充実化を図る。

5 質疑

6 指導助言

【阿部様】

- ・学校周知の結果が見られていると思うので、引き続き広報活動をはじめ、学校運営を頑張ってもらいたい。
- ・教職員の皆さんが楽しめる職場環境を目指して欲しい。卒業生が母校に帰ってきた時に知っている先生たちがいると嬉しいものなので、子供たちのためにも先生が長く勤められる学校、職場であってほしい。

【高橋様】

- ・本年度の在籍生徒84名という数字はこれまでの学校経営・教育の成果であると思う。プロセスも大事だが、結果が重要になるので、できない理由ではなく、できるために何ができるかを考えて学校運営を頑張ってもらいたい。
- ・昨今の時代、SNS活用の大切さを実感している。学校の良さがより伝わるよう、研修等を通じて研鑽を積んでほしい。

【井上様】（欠席のため司会代読）

- ・株式会社ガモウで運営するプロショップ「cetera(セトラ)」で、1day 職業体験等の受け入れが可能。美容業界のプロフェッショナル商材に広く触れていただける機会となれば幸いである

7 連絡事項（藤原）

- ・時代に即した社会に求められる人材養成を目指し、令和8年度入学生から専門コース・教育課程等の再編を行う。在籍生徒が卒業するまでは現コースを開講し、学校日課（時間割）は令和8年度から学校統一で変更する。4月に在校生と保護者に周知し、5月以降の生徒募集活動で案内していく（令和8年度募集 学校案内・パンフレット P5～6 コース内容）。
- ・高等学校等授業料無償化（令和8年度から上限変更、所得制限撤廃予定）に伴い、本校独自の学費減免「みらい就学支援制度」の減免額拡充を行い、私立学校への入学ハードルを下げる施策を講じる。

8 教頭挨拶（菅野）

- ・公立学校に基づいて開校してきたが、今後は三幸学園独自の教育の提供を進めていく。
- ・職場環境についても見直し、適材適所の業務を行えるようにしていく。